

上海領事官事務

第六号、品川領事ヨリ大隈長官寺島外務卿へ商招

局所有船取調ニ付未東ニハ明科

清國海軍運送船并ニ商招局所有之船舶別紙ノ  
通取調候間今般差上申候最モ此内福州并ニ上  
海、築造船ハ柳原全権公使赤松少将殿へモ過  
日差出置候ニ付御手ニ相廻リ候哉難計乍併今  
般漸ク商招局所有船トモ悉皆取調候ニ付一束  
差上申候也

明治七年八月十二日 上海領事品川忠道

寺島外務卿 殿

上海領事官事務

大隈蕃地事務長官殿

別紙

上海造船局ニテ落水之分

番号	船号	長サ	濶	深	馬力	毎点鐘行	鋼炮	銅炮	小銃	水師
一	外車 千間尺	四間尺	二間尺	四寸	我五里余 英十二里余	二門	六門			百十人
二	内車 二十間尺	四間半	二間尺	四寸五分	我五里半余 英十三里半	四門 四十磅門 十磅門	一門 四十磅	前 後		二百人
三	二十八間	四間半	二間尺	四寸五分	我五里余 英十三里半	六門 四十磅門 十磅門	一門 四十磅	前 後		百十人
四	三十間尺	商尺	四間尺	六寸	我四里十下 英十里半余	十磅門 四十磅門 十磅門		前 後		三百人
五	四十六間	七間五尺	六間尺	十寸	我五里半余 英十四里余	四十磅門 十磅門		後		五百人
六	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

千八百六十九年爾後於福列造船場水落セ  
清國軍艦第十五号ノ明細書ハ佛蘭西教師  
ケル氏ノ著述セル小冊書中ニ在ルヲ誤ス  
モ、ニシテ自ラ其造船場ニ師タルヲ以テ確

証トスルニ是レリ

番号	水落ノ日	船号	船形	積高	馬力	砲数	人負
一	千八百六十九年 六月十日	クワンニンチヨシ	駁貨船	千四百五十噸	百五十匹	六門	百人
二	全十月六日	マイエシ	砲船仔	五百十五噸	八十匹	三門	七十人
三	千八百七十年 五月三十日	エーレン	全	全	全	全	全
四	全十月廿二日	アウボ	駁貨船	千二百五十八噸	百五十匹	五門	百人

上海造船局

五号	千八百七十五年六月十八日	ナニラン	駁貨船	千〇五噸	全	全	全	全
六号	全十一月廿八日	チュンハイ	砲船仔	五百七十二噸	全	八十匹	六門	七十人
七号	千八百七十二年四月二十三日	アレラン	コレット	千三百九十三噸	全	二百五十五匹	十三門	二百人
八号	全六月三日	ワエイユン	駁貨船	千二百五十八噸	全	全	五門	百人
九号	全八月廿一日	チンヤン	砲船仔	五百七十二噸	全	八十匹	六門	七十人
十号	全十二月十日	チロウエイ	全	五百七十二噸	全	全	全	全
十一号	千八百七十三年一月二日	ロムーア	駁貨船	千三百六十八噸	全	百五十五匹	五門	百人
十二号	全八月十日	コンパカ	全	千三百九十一噸	全	全	三門	全
十三号	全十月八日	ハエキン	全	全	全	全	全	全
十四号	全十二月未	十四号ト称	全	全	全	全	全	全

十五号 千八百七十四年 第二月未 十五号ト称 全 全 全 全 全

七年八月初七日、申報ニ曰相傳招商輪船局奉命將各船準備載兵ノ役云々説アリ則此局輪船ヲ言フ

現今商招商ニ所有スル輪船、總數八艘ニ及  
 へリ此ノ積高ヲ合計セハ船ノト四千五百噸  
 ニ近シ之ノ噸フル必告スルニ緊要ノ事ナリ  
 トス  
 エンニン 三百四十二噸  
 エーデン 五百〇七噸

ホー千五レ  
 八百四十九噸  
 ハイ千二  
 四百〇九噸  
 リトユエレ  
 七百三十九噸  
 タン千  
 三百十五噸  
 ヨン千  
 六百六十一噸  
 ノー千  
 五百三十二噸

合計四千三百四十九噸

同局ニ所有ト為スヘキ輪船二三艘英國ヨリ  
 到着スレ説アリ然レ時ハ洋子江及ヒ近港質  
 易ノ米往自カテ感ナレヘシ

追啓

只今陳福勳ノ使人ヨリ承リ候ニハ柳原全權  
 公使各國公使同席ニ於テ既ニ總理衙門ト初  
 度ノ應接相濟都合好キ談判有之候儀ヲ申出  
 候  
 本便出船ノ間際ニ到リ候事故猶問合詳委申  
 上度候ヘドモ其間合無御坐候ニ舟次便ヲ以  
 可申上候也

明治七年八月十二日 上海領事品川忠道

寺島外務卿殿

蕃地事務長官大隈殿

猶以各國公使同席ト云フハ初度ノ應接ニ  
付少レク疑惑仕候ヘク使人ノ言ニ任セ其  
終申上候也

第一 大隈長官ヨリ大久保辨理大臣へ李仙得拘

留電報ニ付米公使へ云々米東八月十

准二等李仙得儀於廈門拘留ノ儀電報有之候ニ  
付在北京米國領事へ嚴敷御掛合有之度旨長崎  
支局ヲ經テ電報申進候間御承知ト存候依テ最  
前李仙得ヨリ、電報寫別紙之通ニ候間為御心  
得致御回附候

一陸軍十三番大隊金川丸へ駕シ本日横濱發航  
之積ニ有之候

一汽船東海丸金川丸買収ノ儀ハ兼テ御承知ノ